

平成 24 年 9 月 1 日

てんかんという病気をご存じですか？平成 24 年 4 月に 19 人が死傷した京都での自動車事故をはじめ、てんかんの持病を持つ患者による事故が最近、よくメディアに取り上げられています。しかし、てんかんは大半の患者が適切な服薬でコントロールできるにもかかわらず、病気の実態が知られていないことが原因で偏見や差別が行われていることもこのような報道の背景にあると考えられます。



今回は、「てんかん」についてお話をしたいと思います。

● てんかんとは？

てんかんは、てんかん発作を繰り返す脳の慢性疾患です。てんかん発作は、脳内の神経細胞がいっせいに過剰に興奮する（電気信号を送る）ために起こります。神経細胞は、普段は弱い電気信号のやり取りで情報の受け渡しをしていますが、突然、強い電流が流れることによって、意識がなくなったり、手足のけいれんが起こったりします。3 歳以下の小児に多く発症しますが、成人や高齢者でも外傷や脳血管障害などが原因で、てんかん（けいれん発作）を発症することがあります。

てんかんの原因は特発性てんかんと症候性てんかに分けられます。

・特発性てんかん

はっきりした脳の障害が見当たらず、原因が特定できないてんかんのことです。

・症候性てんかん

出産前後の脳の障害、交通事故などによる頭部の外傷、脳腫瘍や脳炎などの病気によって、脳になんらかの損傷があるために起こるてんかんのことです。

● てんかん発作の分類

てんかんの発作は、脳の過剰な興奮が脳の一部分で起こる「部分発作」と、脳深部の過剰な興奮が脳全体に一挙に拡がって起こる「全般発作」に分類されます。

● 発作時の対応

けいれん発作をみた場合には、あわてずに衣服をゆるめ、ゆったりと呼吸できるような状態を作り、静かに危険のない場所に寝かせます。

このとき吐くこともあるので、顔は横向きにして寝かせます。その時、どのような発作なのか、持続時間、意識があるかどうかなど発作の様子をよく観察しておきます。

通常は数分で終了することが多いので救急車を呼ぶ必要はありません。

しかし、10 分以上発作が続くようなら、救急隊に連絡し、かかりつけの病院に運んでもらいましょう。



● てんかんの治療

てんかんの主な治療方法は抗てんかん薬による治療です。抗てんかん薬は脳の異常興奮を抑えて発作が生じるのを予防します。

発作の種類によって、薬を使いわけて治療します。

◎部分発作に使われる代表的な薬◎

テグレトール
アレビアチン
エクセグラン

◎全般発作に使われる代表的な薬◎

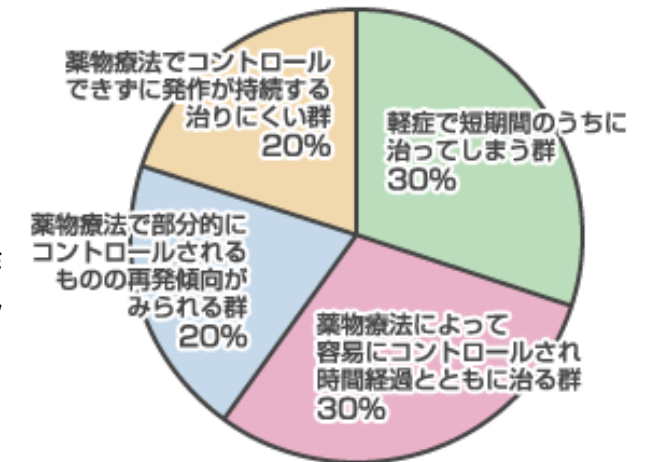
デパケン
エプレオプチマル
フェノバル

通常、てんかんは 1 種類のお薬で治療しますが、2～3 種類を試して効かない場合は複数のお薬を飲むこととなります。

● 治療経過と予後

薬物療法による治療経過と予後は右記のグラフのようになっています。

約 60% の患者は適切な薬物療法により発作をコントロールすることができますが、寝不足、過労や薬の飲み忘れがあると発作が再発してしまうことがあるので、きちんとした服薬と規則正しい生活を送ることが大切です。



● 運転免許はとれるの？

てんかんが完治したと判断された場合には全く制限は受けません。

服薬中の患者さんの場合でも、発作が過去 2 年以内に起こったことがない場合で、ある条件（服薬を変更しない、怠薬しないなど）を満たせば運転免許取得が可能です。ただし、運転を職業とする免許は取得できません。

● 最後に

突然やってくるてんかん発作に備えるためには、本人・家族や家族の努力が重要であることは言うまでもありませんが、周囲の皆様がてんかんについて理解し、患者さんへ協力することも必要です。

〈参考〉・「今日の治療指針 2012」 ・日本てんかん学会 HP <http://square.umin.ac.jp/jes/>

・メンタルナビ <http://www.mental-navi.net/tenkan/index.html>